

第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

イベント名	第7回 九州「川」のワークショップ in 別府
主催者	特定非営利活動法人 九州流域連携会議
開催日	2007年12月 <input checked="" type="checkbox"/> 1日 <input checked="" type="checkbox"/> 2日 <input type="checkbox"/> 3日 <input type="checkbox"/> 4日 <input type="checkbox"/> 5日
開催時間	2007.12.1 13:00~21:00 (交流会含む)、2007.12.2 9:00~15:30
開催場所	<input checked="" type="checkbox"/> 別府市内 <input type="checkbox"/> 大分県内 <input type="checkbox"/> その他
会場名	別府大学
参加人数	350名

開催概要 (900字以内)

「いい川、いい川づくりとは？」というキーワードを、九州各流域におけるそれぞれの活動や取り組みを発表し、議論し、お互いの活動を称えあうことによって、これからの水とくらしの中での川に対する思いをみんなで探すとともに、第7回目を迎える今回は、アジア・太平洋水サミットの開催地である別府市で同時開催し、アジア地域からの留学生も交えての意見交換を行うことで、日本を含むアジア太平洋地域の水環境の実状を学ぶことができました。

会場を提供していただいた別府大学、発表していただいた九州各流域の発表24団体とアジア太平洋各地からの留学生のみなさん、会場を訪れてくれた350人の来場者に感謝します。

九州「川」のワークショップ プログラム

■2007.12.1 の日程

- 13:00 開会式
- 13:30 各流域プレゼンテーション1
- 14:30 留学生の水事情報告
- 16:00 各流域プレゼンテーション2
- 18:30 交流会

■2007.12.2 の日程

- 09:00 各流域ポスターセッション
- 10:30 テーマ別ミニ討論会
- 12:00 昼食
- 13:00 テーマ別ミニ討論会報告と全体討論会
- 15:00 閉会式



日本水フォーラムに期待すること（600字以内）

水環境に関する公開された議論の場は、あるようであまりないように思います。

水環境といっても地下水から湖水、河川、海洋まで様々な水環境があり、環境保全のためには、家庭から地球環境規模まで水に関わる環境の問題まで話さないといけません。

また、水を使う人、水とふれあう人、水から守る人など消費から、親水、利水、治水など人と水の関わりの話もしなければいけません。

それだけ水に関することは、人の生活、生物の生きていく上での、また、環境の根源になるものと言えるのではないかと思います。

総合的に話し合う場をと簡単に言葉ではいえますが、いざその場を設けるとなるとその規模や切り口（分野）の整理から始めないといけない状態だと思います。

総合水学会みたいなものを創ってみてはどうでしょう。加えて、水環境の現場で頑張っている団体や人が自立していけるような環境づくりにも期待します。

その他（オープンイベントを開催した感想、今後の予定など、600字以内）

九州川のワークショップは、それなりに盛会の内に、また、新しい形を残しながら終了したと思います。次年度（平成20年度）に長崎で開催される第8回の九州川のワークショップにいい形でつながっていくものと考えています。

今回のオープンイベントとして開催して残念だったことは、

- ・オープンイベントを開催したもの同士の交流の場が十分に設定されていなかった
- ・参加各国との交流の場が十分に設定されていなかったこと

サミットなのでしかたないといえばそうなのかもしれませんが、会場にいて、オープンな雰囲気を感じれなかったのはわたしだけでしょうか？

